

# 活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

# 井上 重久 しげ ひさ No.29 だより



平成25年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



長崎かんばらんば国体実行委員会「第3回総会」  
(平成25年5月20日、ホテルニュー長崎)



長崎帆船まつり(日本丸)  
(平成25年4月26日、長崎港)



第4回友愛塾(講義Ⅱ、大松理事長)  
(平成25年4月21日、式見ハイツ)



劉春潮中国蓮画作品展(中山市美術館館長)  
(平成25年6月30日、KTNギャラリー)



長崎市中総体(選手宣誓)  
(平成25年6月18日、かきどまり競技場)



青少年育成連絡協議会総会(功労者表彰)  
(平成25年5月25日、セントヒル長崎)



福田中学校ペーロンチームの練習



長崎造船所で建造された「ダイヤモンド・プリンセス」

## 夏の風物詩「長崎ペーロン」!

本格的な猛暑日が続くなか、各地域においては、ペーロン・夏祭り、祈りと平和を考える集会及び初盆の精霊流しなどの時期を迎えました。皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事と存じます。夏の風物詩「長崎ペーロン」は、1655年(明暦元年)長崎港に停泊中の唐船が暴風雨に襲われて難破、多くの犠牲者を出し、在留の唐人たちが海神の怒りを鎮めようと

## 端舟(はしけ)を借り集めて、長崎港で競漕したことが始まりと云われているそうです。

現在の「長崎ペーロン」は、漁業地区では川祭りと呼ばれて水神を祭り海上の安全と大漁を祈り、農業地区では足洗いと田植のあと慰労を兼ねて豊作を祈り、6月初旬から8月下旬まで、各地域の伝統行事として実施されています。今後とも地域の繋がりを深め、伝統行事のペーロンを継承して行きましよう。

## 環境経済委員会報告(要旨) 6月18日～20日

- ◆「長崎和牛・出島ばらいろ」ブランド強化費 ……210万円
- ◆「長崎和牛・出島ばらいろ」のブランド化の確立に向けた取り組みを強化し、消費の拡大と生産者の所得向上を図り、地域活性化を行う取り組みに対し負担する。
- ◆コンベンション施設整備推進費 ……2,293万5千円
- ◆コンベンション施設整備の現実可能性の詳細検討及び関係機関との調整を図る。また、施設整備検討等に係るアドバイザリー委託ほか。当初予算 800万円
- ◆未就職卒業生緊急就職支援費 ……811万6千円
- ◆卒業後3年以内の未就職卒業生を対象に、必要な知識や技術等取得する研修や、民間企業で実践的な職場研修を行い、地域のニーズに応じた人材を育成するとともに、正規就業につなげる。
- ◆雇用者数5人
- ◆当初予算 5,682万2千円(雇用者数30名)
- ◆一般会計債務負担行為
- ◆次世代エネルギー発電事業費補助 ……3,000万円
- ◆市内で新たに再生可能エネルギー源による1,000kW以上の発電事業を行う事業者へ設備投資にかかる経費の一部を補助し、再生可能エネルギーを地域自らで創り出す「創エネルギー」を推進する。
- ◆平成26年度～平成27年度



コンベンション施設整備候補地(尾上町)

## 編集後記

▼6月定例会の大きな争点は、長崎市が建設中の新市民病院の名称案「ながさきみなとメディカルセンター」を否決、新市立病院建設に伴う関連の予算執行を認めない付帯決議をしている問題で、約50億2,000万円分の工事を市内業者に発注する確約が取れたため予算執行凍結の解除を行った。病院名称案は、約1万8千件の応募があったが、現名称が市民に親しまれており、高齢者は長く覚えてきた等々の意見が出て否決された。2月定例会と同様、市と市立病院機構の連携不足、議会への事前説明が不足していたと思われる。

▼長崎ペーロン選手権大会は、7月27日(土)・28日(日)に長崎港で開催される。大会にむけて、福田中学校チームも気持ちをひとつに練習に励んでおり、昨年以上の成績を期待する。また、三菱重工労組長船支部が毎年実施している、「2013とととと祭り」は、8月25日(日)16時から水辺の森公園にて開催される。今回のゲストは、せんせい♪せんせい♪でおなじみの「森昌子さん」、デビュー当時は「花の中三トリオ」の一人としてアイドルと呼ばれ、「越冬つばめ」など演歌歌手として活躍している。50歳代の同世代の人達にも、青春を思い出す機会や楽しいひと時を過ごしてもらいたい。

## 交流人口の拡大を目指して!

平成24年の国際クルーズ船の長崎港への寄港は過去最高の72回、約12万人(乗客・乗員の合計)が長崎の地を訪れました。平成25年は、沖縄県・尖閣諸島問題などの影響もあり、中国からの入港が減少し5月29日現在で、36回の寄港予定となっています。6月9日のサン・プリンス寄港以来、8月22日までの入港予定はなく、今後、関係先の連携でさらなる誘致活動の推進を図り、交流人口の拡大による地域活性化に繋げてもらいたい。

三菱重工長崎造船所で建造された大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」、本年は長崎港松ヶ枝岸壁にすでに2回寄港し、10月に3回目の寄港が予定されています。クルーズ客船入港時には、松ヶ枝岸壁及び市内中心部は外国人観光客の飲食・買い物などで地域経済が潤っています。産学官一体となった、おもてなしの歓迎行事(演舞・演奏など)、国際観光都市としてのイメージアップなどで鶴の港「長崎」に彩りを添えてほしいものです。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。熱中症には、十分注意しましょう。

長崎市議会議員 井上 重久

ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 井上 重久

自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553  
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985  
http://inoueshigehisa.net/

# 補正総額約18億1,463万円(特別会計含む)、41の議案を可決・同意!



平成25年第2回長崎市議会定例会は、6月7日に開会し6月26日までの20日間の日程で開催されました。6月定例会の補正予算案は、一般会計予算(17億9,803万6千円)、特別会計予算(1,660万1千円)の総額18億1,463万7千円の補正予算(第2号)及び平成25年度における臨時的な職員給与減額措置による6億7,423万円の減額(第3号)など可決されました。

条例改正では、長崎市企業立地の促進による産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例、小規模介護施設のスプリングラー設置などを義務化する条例等は原案可決、その他の議案である市立市民病院の名称変更に係る3議案は否決されました。

人事関係では、副市長には自治省出身の岡田輝彦氏を選任、小榊小学校移転改築用地の土地取得等、人事3件、条例11件、その他7件(3件否決)、予算10件、報告11件の合計39議案を可決・同意しました。また、議員提案の「平成25年度における議員報酬の臨時特例に関する条例」など、全会一致で可決しました。

## 補正予算の主な内容

- ◆民間保育所保育士等処遇改善費 ……1億7,816万7千円
- ◆児童福祉施設整備事業費補助金 民間保育所 ……4億7,487万3千円
- 【合計で70人の定員増】
- 福田保育園・長照寺保育園
- つばさ保育園・畝刈保育園
- ◆住宅リフォーム緊急支援費 ……9,123万9千円
- 【対象】
- ・住宅の性能向上を図るリフォーム工事
- ・バリアフリー型、省エネ型、防災型の3種類
- ・補助の額は、対象工事費の5分の1で、上限額はバリアフリー型20万円、省エネ型、防災型は30万円
- ◆車みち整備事業費 ……3,000万円
- 【整備箇所】入船町(全体計画L11510m、幅員W13m)
- ◆耐震化推進事業費 ……6,780万円



耐震補強工事が実施される福田中学校

◆稲佐山公園遊歩道(夜景観光整備) ……4,500万円

◆小学校整備事業費(諸工事) ……8,800万円

【整備箇所】

- ・女の都小学校…プール改修
- ・矢上小学校ほか…高圧受変電設備改修

◆公民館施設整備事業費(西公民館ほか) ……8,900万円

【建物・設備改修】

- ・西公民館…外壁改修工事他5ヶ所
- 【備品購入】
- ・南公民館…舞台幕他4ヶ所



長崎市西公民館

## 一般質問・要旨



長崎市政を質す(登壇11回目)

### 地場産業の振興と雇用確保について

【質問】長崎県と連携した取り組みと課題は?

【回答】本市では、雇用を創出し確保する施策として「地場産業の振興」、新たに事業を起こす「創業への支援」、即効性の高い「企業誘致」の3つの柱を定め、県と連携しながら各種事業を推進している。企業誘致では、平成23年4月ANAテレマート長崎支店の誘致が実現し、平成29年度には450名体制となる予定である。本年4月には、住友電装長崎ソフトセンターが事業を開始し、現在22名体制から平成27年度までに60名規模が予定されている。特に、若者の県外流出防止策として、大学生や高校生向けの合同面談会、

長崎市独自の施策として「学生地元就職促進事業」を実施し、地元企業を知る機会を得て自社PRの場としている。また、中小零細企業が単独では実施が困難な「造船造船新人研修」や「新卒就職者激励大会」などを開催し、新入社員へのやる気を高め、企業人としてスタートできるように支援している。

【要望】長崎県と連携を図り地場企業の支援・企業誘致、学生地元就職促進事業などを着実に進めて、地域経済の活性化に繋げてもらいたい。

【再質問】「ながさき海洋・環境産業拠点特区」の具体的検討状況は?

【回答】造船業を中心とした産業の振興とあわせ、地球温暖化対策、海洋環境の保全対策、海洋エネルギーの活用など特区制度を活用して、地域経済の活性化に繋げようとするもの。「国と地方との協議」は、地元自治体と関係する造船各社等による協議や意見交換を行ない、「保税手続きの簡素化等による物流コストの削減」



基幹製造業の三菱長崎造船所

など、規制の特例措置等について国との協議を原則年2回実施し、5年間取り組みが進められる。今後は、税制優遇措置、補助金等を活用した金融上の支援、海洋・環境産業に従事する人材の育成・確保等、国と協議が行われる。

### 要望

規制の特例措置、税制・財政・金融上の支援措置、制度化を早急に取りまとめ、関係省庁に提出し、平成26年度概算要求のなか

### 質問

実践型地域雇用創造事業の具体的な取り組みは? 実践型地域雇用創造事業は、求職者を就業させるこ

と、企業に雇用の場を創出させることを目的としている。長崎市と西彼時津、長与両町でつくる「長崎地域雇用創造協議会」では、2015年度

までの3年間で463人の雇用創出を目指す。事業費は、約2億3千万円で国から全額補助されるもの。事業の特徴は、長崎の豊かな魚の資源を磨き上げて「魚のまち長崎」をPRする旅行商品の開発、魚を活用した特産品等の開発を行なう。雇用目標は、事業者向けの「雇用拡大セミナー」で23人、求職者向けの「人材育成セミナー」で267人、「就職促進メニュー」で162人、「雇用創出実践メニュー」では協議会が雇用する実践支援員を4人、3年間で延べ11人雇用する事を予定している。

### 要望

各種事業のメニューは、7月から始まるこの事であり、今後、1市2町が行う各施策と連動させて十分な事前準備を行い、地場産業の振興と雇用確保に努めてほしい。

### 質問

行政運営について 包括外部監査報告書



長崎市民総合プール(松山町)

(35件の指摘、145件の意見)を受けての対応は?

【回答】個別施策の検証のなかで、指定管理者を公募せずに委託している非公募施設のうち、市民生活プラザ(築町)と障害者福祉センター(茂里町)は「公募すべき」とし、指定管理者のあり方や事業のあり方について早急に方針を確定することが望ましい。市民総合プール(松山町)と長崎ペンギン水族館(宿町)は「公募が望ましい」との「意見」が付いている。4施設については、平成27年度に指定管理者が更新されるため、今年度中に公募か非公募の結論を出す。35件の指摘については、現在31件が措置済みで、4件

### 要望

関係各部署は、協議内容の確認、修繕費の契約実態の把握、公の施設として規定に即した活用、基本協定の見直しなど、指摘・意見を踏まえてキチンと水平展開を行い適切な是正対応を願う。



自席より再質問を行う

そのほか、長崎市地域防災計画の主な見直し及び取り組み、世界遺産登録への取り組み、井上重久ホームページ(議会報告)のなかに掲載していただきますので、是非アクセス頂ければと思います。